

様式第1 (第4条関係)

設置届出の場合は(使用、変更)の文字を抹消します。

① 特定施設設置 ~~(使用、変更)~~ 届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

大分市長

〇〇〇〇 殿

法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入し、社印及び代表者印を押印します。

届出者 ② 大分市〇〇町△丁目□-◎
株式会社 〇〇 〇〇 印
代表取締役 △△△△

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項 ~~(第13条第1項又は第2項、第14条第1項)~~ の規定により、

特定施設の設置される工場名、支店名等を記入します。

工場又は事業場の名称 ③	株式会社〇〇〇〇大分工場	※整理番号	
③の所在地を記入します。 所在地④	大分市大字△△△△番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類 ⑤	5. 廃棄物焼却炉	※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙1、水質基準対象施設にあつては別紙4のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用	大気基準適用施設にあつては別紙2、水質基準対象施設にあつては別紙5のとおり。	※備考	
△発生ガス又は液の処理の方法	大気基準適用施設にあつては別紙3、水質基準対象施設にあつては別紙6のとおり。		

大気基準適用施設(法施行令別表第1に掲げる号番号及び名称)、水質基準対象施設(法施行令別表第2に掲げる号番号及び名称)を記入します。また、種類が複数ある場合は列記します。

水質基準対象施設にあつては同

- 4 変更届出の場合は、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面表等をもとにものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 6 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することによって、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

別紙 1

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
特定施設番号及び名称	5. 廃棄物焼却炉	
型式	AB-12型	
施設の設置場所	廃棄物置場	
設置年月日	年 月 日	
工事着手予定年月日	13年 2月 20日	
工事完成予定年月日	13年 4月 31日	年 月 日
使用開始予定年月日	13年 5月 1日	年 月 日
規	原料の処理能力 (t/h)	
	変圧器の定格容量 (KVA)	
	炉の容量 (t)	
模	焼却能力 (kg/h)	250
	② 火床面積 (m ²)	3.6
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">該当する項目を記入します。</div>		
その他参考となるべき事項		

①
記入欄の縦は、1施設ごとに記入します。
変更届出の場合は、変更前及び変更後の内容を対照させて記入します。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

別紙2

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1			
時間	午前9時～午後9時			
日	25日/月			
種別	廃プラスチック類			
割合②	40% (重量比)			
燃料中の成分割合 (%)	3%			
燃焼燃料の燃焼量	1200kg/日			
排出ガス量 (m³N/h) ③	最大 12,000 m³N/h	通常 8,000 m³N/h	最大	通常
排出ガス温度 (℃)	160			
排出ガス中の酸素濃度 (%)	13.0			
排出ガス中のダイオキシン類の濃度 (ng-TEQ/m³N) ④	最大 0.5	通常 0.3	最大	通常

「使用割合」は、最大値を記入し、重量比 (%) 又は容量比 (%) の別を明らかにします。

記入欄の縦は、1施設ごとに記入します。変更届出の場合は、変更前、変更後の内容を対照させて記入します。

「排出ガス量」、「排出ガス温度」、「排出ガス中の酸素濃度」は、集じん機等のばい煙処理施設等がある場合は、処理後の数値を記入します。また、「排出ガス量」は、標準状態 (0℃、1気圧) における量 (m³N/h) です。

「排出ガス中のダイオキシン類の濃度」は、標準状態における乾きガス中の濃度であり、標準残存酸素濃度 (On) による換算が必要な施設は、次式により換算します。

$$\text{ダイオキシン類濃度} = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \text{測定時のダイオキシン類濃度}$$

O_s は、測定時の排出ガス中の残存酸素濃度 (%) です。

3 「その他参考となるべき事項」の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

別紙 3

発生ガスの処理の方法

記入欄の縦は、1施設ごとに記入します。変更届出の場合は、変更前及び変更後の内容を対照させて記入します。

①

発生ガスの処理の系統は全体のフローについて記入します。また、別フロー図等を添付します。

施設番号	No. 2	No. 3
名称及び型式	減温塔 K-18	バグフィルター BG-200
処理の系統②	水スプレー (120 l/h) (870℃ → 160℃) 減温塔 → バグフィルター → 煙突 別図参照	ろ過面積 300m ² 同左
施設の設置場所	廃棄物処理棟	同左
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	13年 2月 20日	13年 2月 20日
工事完成予定年月日	13年 4月 31日	13年 4月 31日
使用開始予定年月日	13年 5月 1日	13年 5月 1日
その他参考となるべき事項③	・バグフィルター入口で 活性炭を注入 (5kg/h) ・煙突の高さ 7.5 m (φ0.8m)	

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日の欄に、使用開始予定年月日、工事着手予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

排ガスを大気へ排出する煙突の高さ及び径を記入します。その他発生ガスの処理の方法のうち参考となる事項を記入します。

始
合
予

2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙4

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	○		
特定施設番号及び名称	○ ○○○○○		
型式 ①	○○式○○○		
構造 ②	○○○製(○○型)		
主要寸法	縦○×横○ (単位:m)		
能力 ③	○○処理量 ○○○kg/時		
配	別紙のとおり		
設置	年 月 日	年 月 日	
工事着手	平成○年 ○月 ○日	年 月 日	
工事完成予定年月日	平成○年 ○月 ○日	年 月 日	
使用開始予定年月日	平成○年 ○月 ○日	年 月 日	
その他参考となるべき事項	○基 設置		

ダイオキシン類対策特別措置法施令別表第2の当該特定施設の該当する施設番号及びその名称を記入します。

ステンレス製、FRP製等その材質及び円筒、角型等その物理的形態を記入します。また、詳細を構造図により明らかにします。

時間(1日)当たり又はバッチあたりの処理能力を記入します。

- 備考 1 規模の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

別紙 5

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	○			
設置場所 ①	別図の通り			
操業の系統 ②	別図の通り			
使用時間間隔	連続（又は間欠）			
1日当たりの使用時間	○時～○時 ○時間			
使用の季節的変動	無（又は有：夏場は○時～○時 ○時間）			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	○○○○ ○.○kg ○○○○ ○.○kg			
汚水又は廃液の汚染状態 ③	通常	最大	通常	最大
	SS ○○ mg/l ダイオキシン類 ○○ pg-TEQ/l	SS ○○ mg/l ダイオキシン類 ○○ pg-TEQ/l		
汚水等の量 (m ³ /日) ④	通常	最大	通常	最大
	○○	○○		
その他参考となるべき事項				

配置場所図により、明らかにします。

「特定施設を含む操業の系統」について、操業系統図により明らかにします。

「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態（懸濁物質(SS)及びダイオキシン類に関する項目）」を記入します。

当該特定施設から排出される汚水等の量で、その汚水等が処理されるかされないかにかかわらず、その全量を記入します。また、汚水等の一部あるいは全部を循環使用する場合であっても、その全量を記入します。

工場又は事業場における施設番号		○							
処理施設の設置場所		別図のとおり							
設置年月日		年	月	日	年	月	日		
工事着手予定年月日		平成○年	○月	○日	年	月	日		
工事完成予定年月日		平成○年	○月	○日	年	月	日		
使用開始予定年月日		平成○年	○月	○日	年	月	日		
種類及び型式		○○○処理施設							
構造		○○製							
主要寸法		縦○×横○×高さ○(単位m)							
能力		処理能力(水量○○m ³ /日)							
処理の方式 ①		○○○○							
処理の系統 ②		別図のとおり							
集水及び導水の方法		排水溝及び○○配管							
使用時間		連続(又は間欠)							
1日当たりの使用の		○時～○時 ○時間							
消耗		無(又は有:夏場は○時～○時 ○時間)							
1日当たりの用途別使用量		○○○ ○.○kg							
汚水等の汚染状態及び量	項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	SS (mg/l)	○○	○○	○○	○○				
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) ③	○○	○○	○○	○○				
量 (m ³ /日)	○○	○○	○○	○○					
残さの種類、1月間の種類別生産量及び処理方法		汚泥 ○○kg/日 業者委託処分							
排出水の排出方法		別図のとおり							
その他参考となるべき事項		○○○○							

処理方式を具体的に記入します。

処理の系統図により明らかにします。

「汚水等の処理施設の使用時における処理前及び処理後の当該汚水等の汚染状態の通常値及び最大の値、通常量及び最大の量」を記入します。「種類・項目」欄については、懸濁物質(SS)及びダイオキシン類に係る種類・項目を記入し、それぞれの項目について、その汚染状態を記入します。

備考1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日を、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 排出水の排水方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。